

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育人事費

### 事業名 学習指導員配置事業費補助金（コロナ分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教職員課 小中学校係 電話番号：058-272-1111(内8590)

E-mail：c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 27,857 千円 (前年度予算額： 40,437 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	40,437	40,437	0	0	0	0	0	0	0
要求額	27,857	9,285	0	0	0	0	0	0	18,572
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症については、各学校において「新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえた学校運営について（オミクロン株の特性を踏まえ感染再拡大時に備えた学校の対応を含む）」に基づき、児童生徒及び教職員の感染が広がらないよう配慮しながら、教育活動の継続に努めている。

そのような中で各学校においては、三密を避ける学習環境づくりや、臨時休業・出席停止等による学習の遅れ及び学力格差への対応が求められており、児童生徒の一人一人にあったきめ細やかな対応を実現する上で、必要な人的体制整備を支援する必要がある。

### (2) 事業内容

- ・個々の学習支援
- ・放課後等の補習指導

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・国2/9 県4/9 市町村3/9

### (4) 類似事業の有無

- ・無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	27,857	学習指導員に係る人件費
		・1人当たり年間175時間（1時間/日×5日×35週）
		・122人分（市町村配置予定人数）
合計	27,857	

#### 決定額の考え方

#### 4 参考事項

##### （1）各種計画での位置づけ

○「新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえた学校運営について（オミクロン株の特性を踏まえ感染再拡大時に備えた学校の対応を含む）」

##### ・基本的な感染防止対策の徹底

「健康チェックカード」による毎日の健康状態の確認、登下校時も含めた居場所の切り替わり等における手指衛生（手指消毒）、教室等の換気、身体的距離の確保、飲食時は会話しない等、基本的な感染防止対策を徹底すること。

##### ・感染リスクの高い活動の回避

各教科等に共通する活動として、「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」

##### （2）事業主体及びその妥当性

・事業主体は市町村（学校の設置者）であるため、市町村教育委員会の意見・要望を踏まえて実施する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

新型コロナウイルス感染症対策として、三密を避ける学習環境づくりや児童生徒が欠席した場合の学習支援など、児童生徒の学びの保障を徹底的にサポートするために必要な人材を配置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症への対策として実施するものであり、指標の設定になじまない

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	補習の実施や学習サポートとして、市町村に配置。 (19市町村161人)
-------	--

## 2 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

（評価）

3

今後も新型コロナウイルス感染症対策の徹底が必要であり、三密をさけるための学習環境づくりや、臨時休業や児童生徒が欠席した場合の学習支援が継続的に必要である。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3：期待以上の成果あり  
2：期待どおりの成果あり  
1：期待どおりの成果が得られていない  
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

2

補習の実施や学習のサポートなど、各学校の実態に応じて活用ができてい  
る。

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

- 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

1

既存の市町村費の支援員等の活用や学習指導員の活用の在り方の共有など  
が必要である。

(今後の課題)

国や県の指針を踏まえ、感染症対策に柔軟に対応できるようにする。

(次年度の方向性)

TT指導や放課後の補習等個別の対応により、児童生徒一人一人にきめ細やかな対応  
が継続的にできるようにする。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
------------------------

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>取組内容と成果を記載してください。</li></ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li></ul>	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業が直面する課題や改善が必要な事項</li></ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"><li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li></ul>
---